

山口情報芸術センター [YCAM] シネマ

YCAM Film Factory vol.4

三宅唱監督最新作

『ワイルドツアー』 ※三宅唱監督+出演者による舞台挨拶あり

2018年8月10日(金) 19:30～ 「真夏の夜の星空上映会」にて初公開
山口市中央公園(山口情報芸術センター [YCAM] 前)**三宅唱監督+ YCAMによる新作映画『ワイルドツアー』をこの夏世界初公開—
映画初挑戦の中高生をキャストに迎えた、長編青春映画が誕生！**

山口情報芸術センター [YCAM] では、滞在型映画制作プロジェクト「ファイカム フィルム ファクトリー YCAM Film Factory」の第4弾招聘監督、三宅唱による最新作『ワイルドツアー』を公開します。

YCAM Film Factoryは、既存の映画制作にとられない自由な発想を持つ映画監督と協同し、YCAMに蓄積された横断的な知見と総合させ、より自由な映画制作のあり方を模索するプロジェクトです。三宅唱は、劇場初公開作品『Playback』(2012年)や、音楽ドキュメンタリー『THE COCKPIT』(2015年)、佐藤泰志原作の映画化作品『きみの鳥はうたえる』(2018年9月公開)などの長編劇映画で知られる映画監督です。

第4弾となる今回は、とあるアートセンターで開催されたワークショップ「山口のDNA図鑑」で出会った中高生たちの日常を描いた爽やかな青春映画。出演者みずからカメラを回したり、監督と共にセリフをゼロから作り上げたりと、三宅唱とYCAM、そして映画未経験の出演者が共に試行錯誤しながら一本の映画を作り上げました。

本作は、「真夏の夜の星空上映会」の初日に、監督と出演者による舞台挨拶と合わせて上映いたします。是非この機会をお見逃しなく。



『ワイルドツアー』メインビジュアル
撮影：ホンマタカシ

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中央町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

今日における映画の本質を再考する「YCAM Film Factory」

ワイカム フィルム ファクトリー



空族+スタジオ石+YCAM バンコクナイツ展『潜行一千里』の展示風景 (2018年)
撮影：山中慎太郎 (Qsyuml)

YCAMは2015年から、YCAMの環境やこれまでの知見を背景に、コンパクトな映画制作方法で、今の時代の映画のあり方を模索・実践し、作品を発表していくプロジェクト「YCAM Film Factory」を実施してきました。

機材のデジタル化や、スマートフォンの普及により誰でも気軽に映像が撮れる現代において、映画は、以前より手軽に撮影できるものになりつつあります。しかし、映画制作の枠組みは旧来のままほとんど変わらず、また、映画自体の形式には大きな変化は見当たりません。一方で、YCAMは、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に、様々なメディアアート作品を制作・発表するための研究開発チーム (YCAMインターラボ) が常駐しており、開館以来様々なアーティストとの協働を経て独自の知見を蓄えてきました。

このプロジェクトでは、YCAMならではの自由な制作環境を最大限に活用しながら、制作方法から映画作家と共に見つめ直し、今日における新しい映画・映像作品を生み出すことを目指しています。

これまでに、柴田剛監督による長編映画『ギ・あいうえお 他山の石を以って己の玉を磨くべし』(2016)、映画制作集団・空族の最新作『バンコクナイツ』を元に、マルチスクリーン・インスタレーションとして制作した、空族+スタジオ石+YCAM『潜行一千里』(YCAM 委嘱作品/2016)、染谷将太監督による短編映画『ブランク』(2017)などを発表し、今回が第4弾目となります。

過去の「YCAM Film Factory」作品

YCAM Film Factory vol.1

『ギ・あいうえお』

他山の石を以って己の玉を磨くべし』

ドキュメンタリーのように撮影され、フィクションとして編集をおこなった実験的ロードムービー。

2016年/86分/DCP

監督：柴田剛

YCAM Film Factory vol.2

空族+スタジオ石+YCAM

新作インスタレーション展『潜行一千里』

映画『バンコクナイツ』を編み直し、空族初となる4+1面のマルチスクリーンによる映像インスタレーション作品。

会期：2016年9月24日～11月6日

会場：スタジオB

YCAM Film Factory vol.2

『映画 潜行一千里』

インスタレーション版「潜行一千里」とは異なる視点で編み直された、『バンコクナイツ』の映画版メイキング。

2017年/122分/DCP

監督：向山正洋

YCAM Film Factory vol.3

『ブランク』

山口を舞台に、ある施設の警備員の不可思議な一日をめぐる、虚構と現実が交差した奇妙な物語。

2017年/26分/DCP

監督：染谷将太

YCAM Film Factory vol.3

染谷将太+菊地凜子+金林剛+YCAM

新作インスタレーション展『ブランク VR』

映画『ブランク』のメイキング映像をヘッドマウントディスプレイを装着し、まるで撮影現場にいるような臨場感を持って体感できるVR作品。

会期：2017年8月12日～9月24日

会場：スタジオB

三宅唱+ YCAM + 映画未経験の中高生の旅路—滞在の中で見えた「映画」とは



2018年2月に山口市内で撮影をする様子
撮影：田邊アツシ

第4弾招聘監督・三宅唱へのオファーをしたのは、「YCAM Film Factory」が始まる前の2014年。その後、三宅は数年にわたりYCAMの様々な作品やイベントを体験し、2017年3月頃から、YCAMインターラボとの交流を少しずつ始めました。その時開催したのが、YCAMスタッフ向けの「映画制作ワークショップ」。3日通して映画制作とはなにかを体感し、共作しあう関係を丁寧に築き上げていきました。滞在制作期間は2017年8月～2018年4月と過去最長のとなります。さらに、出演した中高生は、出演者募集も兼ねてYCAMで開催した「中高生向け映画制作ワークショップ」の参加者。映画未経験の彼らとの撮影は、台本をあえて用意せずに、監督が書いた簡単な指示書のみ。その場で出演者と共に物語を肉付けしていくという三宅唱にとっても初めての形式でおこないました。この映画は、ワイルドツアーの参加者として三宅唱とYCAMスタッフ、そして出演した中高生らが冒険を続けた旅路でもあるのです。

三宅唱監督からのコメント

高校受験やら将来のことやら、人生の岐路に立って日々真剣に生きている彼らの姿はあまりにもカッコよく、野生動物のように美しかった。21世紀うまれの彼らのおかげで、今まで見たことのないような面白い映画が生まれたことに、僕自身がびっくりしている。彼らと一緒に旅したワイルドな世界をスクリーンを通して多くの方にも楽しんでもらいたい。

監督プロフィール

三宅唱 (みやけ・しょう)



撮影：鈴木淳哉

1984年札幌生まれ。一橋大学社会学部卒業。映画美術学校フィクションコース初等科修了。2010年初長編『やくたたず』を発表。劇場公開第1作『Playback』(12)がロカルノ国際映画祭インターナショナル・コンペティション部門に正式出品。高崎映画祭新進監督グランプリ、日本映画プロフェッショナル大賞新人監督賞を受賞。つづく『THE COCKPIT』(15)は国際ドキュメンタリー映画祭シネマ・デュ・レエル新人監督部門に正式出品。その他に、ビデオダイアリー「無言日記」シリーズ(14-)、金沢21世紀美術館での企画展「ジャパン・アーキテクト1945-2010」にて展示された建築家・鈴木了二による展示作品を実験的手法によって記録した『物質試行 58 A RETURN OF BRUNO TAUT 2016』(16/共同監督：鈴木了二)、時代劇専門チャンネル製作『密使と番人』(17/主演：森岡龍)などがある。2018年には山口情報芸術センター[YCAM]にてビデオインスタレーション作品「ワールドツアー」を発表したほか、佐藤泰志原作の映画化作品『きみの鳥はうたえる』(出演：柄本佑、石橋静河、染谷将太)の全国劇場公開が秋に控える。

『ワイルドツアー』のストーリー

ここは山口にあるアートセンター。大学1年生の中園うめは、「山口のDNA図鑑」というワークショップにファシリテーター(進行役)として参加している。参加者は、これから、様々な場所に出かけて植物を採取し、山口にどんな植物があるのかを調べていく。うめは中学3年生のタケと、タケの友だちのシュンとともに山口の自然を探索することに...

出演者

中園うめ | 伊藤 帆乃花 (いとう・ほのか)



撮影：ホンマタカシ

劇中においても撮影中においても、いつもみんなを笑顔で引っ張ってくれた。最初に会ったときすぐに天然の愛されキャラだなあと感じ、一緒に映画を作ったことで、かなりしっかり者でもあることを発見した。ハードな撮影にもかかわらず、最後までタフに楽しんでくれて、本当に助かった。なにより、心から演技することが好きなんだなということがわかって、嬉しかった。ほのかの笑顔はこれからもきっと多くの人を惹きつけ、多くのドラマを生むはずだ。

文：三宅唱

シュン | 安光 隆太郎 (やすみつ・りゅうたろう)



撮影：ホンマタカシ

爽やかな二枚目にみえて実は完全な三枚目、生粋のエンターテイナー。ふざけているようにみえて本番に一気に集中力がアップするあたり、まるで少年漫画の主人公。しかも、マイペースにみえて実は自分よりも友人をととても大事にしている。この年齢にしてものすごく優しくて素直なジェントルマンだ。見習いたい。そして、カメラが惚れるような才能を明らかに持っている。余計なお世話だと思うが、ヤッスーの将来を勝手に楽しみに見守りたい。

文：三宅唱

タケ | 栗林 大輔 (くりばやし・おおすけ)



撮影：ホンマタカシ

初めての映画出演にもかかわらず、どんなシーンでも繊細かつ大胆に、そして本当に真剣に演技してくれた。ある重要なシーンの本番中、大げさでなく、彼の真剣さがあまりにも眩しくて、撮りながら震えた。どのシーンでもたくさんのアイデアを出してくれたおかげで名場面だらけになった。おーちゃんが全身全霊で表現してくれた「タケ」同様、これから社会に出ていくおーちゃん自身も、なにがあっても必ずやワイルドに突き進んでいけるはずだ。

文：三宅唱

ザキヤマ | 山崎 隆正 (やまざき・たかまさ)

ほか出演者 |

伊藤 己織 (いとう・きおり) / 高椋 優気 (たかむく・ゆうき)

増田 結妃 (ますだ・ゆうき) / 榎田 七海 (ますだ・ななみ)

渡邊 芽惟 (わたなべ・めい) / 渋谷 圭香 (しぶたに・きよか)

河村 百音 (かわむら・もね) / 川俣 実穂 (かわまた・みほ)

福田 未空 (ふくだ・みく) / 横山 南 (よこやま・みなみ)

小林 功弥 (こやばし・こうや) / 藤原 緑 (ふじわら・みどり)

開催概要

YCAM Film Factory vol.4

三宅唱監督最新作
『ワイルドツアー』

2018年8月10日(金) 19:30～ 入場無料
山口市中央公園(山口情報芸術センター [YCAM] 前)
三宅唱監督+出演者による舞台挨拶あり
※「真夏の夜の星空上映会」にて公開

スケジュール

三宅唱監督+出演者による舞台挨拶

↓

『ワイルドツアー』本編上映
65分(予定)

『ワイルドツアー』

2018年/65分(予定)/カラー/Stereo/© Yamaguchi Center for Arts and Media [YCAM]

英題: Wild Tour

出演: 伊藤帆乃花、安光隆太郎、栗林大輔 ほか

監督・脚本・撮影・編集: 三宅唱

プロデューサー: 杉原永純 (YCAM)

リサーチ・照明: 高原文江 (YCAM)

撮影技術: 大脇理智 (YCAM)

撮影・編集補助: 今野恵菜 (YCAM)

衣裳: 青柳桃子 (YCAM)

美術・デバイスデザイン: 岩田拓朗 (YCAM)

録音: 戸根広太郎

整音: 弥栄裕樹

録音: 安藤充人 (YCAM)

録音補助: 中上淳二 (YCAM)

音楽: Hi'Spec

デザイン: 村上千咲 (YCAM)

メインビジュアル撮影: ホンマタカシ

記録撮影: 田邊アツシ

広報: 岡崎里美 (YCAM)、青柳桃子 (YCAM)、橋本奈々美 (YCAM)

アーカイブ: 渡邊朋也 (YCAM)

ファシリテーション: 山崎隆正、小林功弥、藤原緑

ワークショップ制作・監修: YCAMバイオ・リサーチ・プロジェクト

協力: 西村悦子、有限会社アクティブハカタ

製作: 山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

真夏の夜の星空上映会

隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。涼しい夜空の下で、お友だちやご家族と映画をお楽しみいただけます。

2018年8月10日(金)～12日(日) 各日19:30頃から

会場: 山口市中央公園